

きらっと☆とよかわっ！

豊川市シティセールス戦略プラン

2016 >> 2025
平成28年度～令和7年度

令和4年度 取組状況報告書

企画部元気なとよかわ発信課

基本方針1 わがまちの魅力をいっぱい発信します

大作戦1 わがまち発信大作戦

作戦1 いろいろ発信作戦

凡例

●●●	継続	◀◀◀	完了	—	未実施
▶▶▶	実施（取組開始）	———	検討・調整・準備		

取組名	主管組織	進捗状況（実績）									
		H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
トップセールス	秘書課、企業立地推進課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
とよかわ広報大使制度の活用	元気なとよかわ発信課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
ふるさと観光大使との連携	商工観光課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
いなりん宣伝部長兼おもてなC部長、いなりコ宣伝部特命課長、いなりソ宣伝部特命係長の活用	元気なとよかわ発信課、商工観光課、経営課、議事課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
首都圏などの市外におけるプロモーション活動	元気なとよかわ発信課、商工観光課、農務課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
特産品ギフトカタログの作成	農務課、商工観光課	▶▶▶	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
旅行会社と連携したとよかわ堪能ツアーの実施	商工観光課	▶▶▶	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
とよかわ応援寄附制度に関する情報発信	元気なとよかわ発信課	—	▶▶▶	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
広報とよかわ「モノ・ヒト・シゴト」の作成	秘書課	—	—	—	▶▶▶	●●●	●●●	●●●			

作戦2 よく見える発信作戦

取組名	主管組織	進捗状況（実績）									
		H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
イメージカラーや定型デザインの活用	秘書課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
市ホームページの充実	秘書課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
SNSなどの多様な広報媒体の活用	元気なとよかわ発信課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
民間情報誌との協働広報の実施	商工観光課、企画政策課、秘書課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
動画による情報発信	元気なとよかわ発信課、中央図書館	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
市民公開型GISの活用	情報政策課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
サイン・デザインマニュアル（豊川市）に基づく施設案内用標識の整備	公園緑地課、商工観光課、生涯学習課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
市役所全職員の広報パーソナ化	元気なとよかわ発信課、人事課	▶▶▶	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
シティセールスウェブサイトの整理	元気なとよかわ発信課	▶▶▶	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
広報部門の機能強化	秘書課	▶▶▶	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
図書館コラボ展示・コラボイベントの実施	中央図書館	▶▶▶	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
市内公共交通情報の提供	市街地整備課	▶▶▶	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			

基本方針2 わがまちを好きな人の輪を広げます

大作戦2 わがまち大好き大作戦

作戦1 わがまち学ぼう作戦

凡例

...	継続	《《《《	完了	—	未実施
》》》	実施（取組開始）	———	検討・調整・準備		

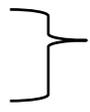
取組名	主管組織	進捗状況（実績）							R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
		H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)			
市民向け観光イベントの実施	商工観光課、文化振興課			
とよかわ観光ものしり検定の実施	商工観光課			
新版豊川の歴史散歩の活用	生涯学習課、中央図書館	———	———	———	———	———	》》》	...			
魅力再発見イベントの開催	商工観光課、生涯学習課、文化振興課	》》》			
特色あるプラネタリウムの活用	中央図書館	》》》			
わがまちの防災を学ぼう作戦	危機管理課	—	—	—	—	—	》》》	...			

作戦2 わがまち輪となろう作戦

取組名	主管組織	進捗状況（実績）							R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
		H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)			
イベントサポート制度の実施	元気なとよかわ発信課			
市民から提供された写真や動画の配信	秘書課			
観光ボランティアの人材育成	商工観光課			
交流イベントの開催	商工観光課			
広域連携による観光PR	商工観光課			
シティセールス戦略プランの周知	元気なとよかわ発信課			
とよかわファンクラブの創設	元気なとよかわ発信課	—	———	———	———	———	———	———			
e-モニター制度の実施	秘書課	》》》			
新たなシティセールスグッズなどの作成	元気なとよかわ発信課、市民課、保健センター	—	》》》			
医療安全川柳の実施	市民病院医療安全管理センター	—	—	》》》			

基本方針3 わがまちのブランド力を高めます

- 大作戦3 わがまち魅力アップ大作戦
- 作戦1 魅力掘り起こし作戦
- 作戦2 魅力組み合わせ作戦
- 作戦3 魅力磨き上げ作戦
- 作戦4 魅力際立たせ作戦



■ 5つの分野に整理

- ①歴史・文化芸術のバリューアップ、②スポーツのパワーアップ、③祭り・イベントのショウアップ、
- ④環境・自然のウェイクアップ、⑤産業・都市基盤のグロウアップ

凡例

...	継続	《《《《	完了	—	未実施
》》》	実施（取組開始）	———	検討・調整・準備		

①歴史・文化芸術のバリューアップ

取組名	主管組織	進捗状況（実績）									
		H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
地域資源をつなぐ街道紹介	商工観光課			
歴史的価値のある神社仏閣の物語性を加えたPR	商工観光課			
身近な文化財（国分寺、国分尼寺等）の活用	生涯学習課			
伝統芸能の伝承への支援	生涯学習課			
パワースポットの紹介	商工観光課	———	———	》》》			
豊川海軍工廠平和公園の活用 【旧（R1変更）：平和公園（仮称）の整備】	生涯学習課			
質の高い公演、展覧会の開催	文化振興課			
文化人、芸術家との連携	文化振興課			
大橋屋（旧旅籠鯉屋）の活用	生涯学習課	—	—	—	》》》			

②スポーツのパワーアップ

取組名	主管組織	進捗状況（実績）									
		H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
高校駅伝への支援	スポーツ課			
プロバスケットボールチームとのコラボレーション	スポーツ課			
トップアスリートとの連携	スポーツ課	———	———	———	———	》》》			
パブリックビューイングの開設	スポーツ課、中央図書館			
スポーツイベントの開催支援【旧（R2変更）：各種スポーツ大会の誘致・開催】	スポーツ課			
スポーツ公園の整備	公園緑地課	《《《	《《《	《《《	《《《	《《《			
陸上競技場（第3種公認競技場）の有効活用	スポーツ課			
総合型地域スポーツクラブの設立育成	スポーツ課			
スポーツ合宿支援事業の実施	スポーツ課	—	—	—	》》》			

③祭り・イベントのショウアップ

取組名	主管組織	進捗状況（実績）									
		H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
市民まつり（おいでん祭、手筒まつり）の充実	商工観光課			
地域のイベントへの支援	都市計画課			
地域の祭りの情報発信	商工観光課			
食品製造企業と連携したイベント開催	商工観光課			

取組状況（令和4年度）

④環境・自然のウェイクアップ

取組名	主管組織	進捗状況（実績）									
		H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
山、川、海の観光資源としての活用	商工観光課、道路河川管理課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
河川と三河湾の資源活用	商工観光課	——	——	——	——	——	——	》》》			
桜並木の育成保存	道路建設課、道路河川管理課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
巨木や名木の愛護啓発	環境課、生涯学習課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
赤塚山公園の充実	公園緑地課	——	——	》》》	●●●	●●●	●●●	●●●			
市民協働による自然環境の保全	環境課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
アダプトプログラムによる環境美化と緑化推進	道路河川管理課、公園緑地課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			

⑤産業・都市基盤のグロウアップ

取組名	主管組織	進捗状況（実績）									
		H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)	R7(2025)
地産地消、6次産業化による農業振興	農務課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
まちづくりと連動した商業振興	商工観光課、都市計画課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
企業誘致による工業振興	企業立地推進課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
大学との連携によるまちづくり	企画政策課、都市計画課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
新たな豊川ブランドの創出	商工観光課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
公共交通機関を利用したウォーキング	商工観光課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
2つの高速道路インターチェンジの優位性をPR	企業立地推進課、商工観光課	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
公共機能が充実した複合商業施設プリオのPR	子育て支援課、市民課、市民協働国際課、人権生活安全課、商工観光課、都市計画課、生涯学習課	》》》	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●	●●●			
中心市街地安全で安心なおもてなし空間整備	都市計画課	—	—	—	》》》	《《《	《《《	《《《			

開始数（戦略プラン策定時）	55	（単位：事業）									
取組総数	66	69	69	74	74	75	75				
前年度との増減 （H28は開始数との増減）	11	3	0	5	0	1	0				

主管組織名は、令和5年度組織機構改革後の内容で表記しています。

(単位：事業)

		継続・完了 ①	実施(取組開始) ②	検討・調整・準備 ③	未実施 ④	取組済／取組総数 (①+②)／取組総数	取組率 (%)
進捗状況 (実績)	平成28年度	50	11	5	9	61 / 66	92.4
	平成29年度	61	2	6	6	63 / 69	91.3
	平成30年度	63	3	4	5	66 / 69	95.7
	令和元年度	66	4	4	1	70 / 74	94.6
	令和2年度	70	1	3	1	71 / 74	95.9
	令和3年度	71	2	2	0	73 / 75	97.3
	令和4年度	73	1	1	0	74 / 75	98.7
	令和5年度					/	
	令和6年度					/	
	令和7年度					/	

大作戦1 わがまち発信大作戦

作戦1 いろいろ発信作戦

※取組開始年度の（ ）書きは、計画期間前を含む実際の開始年度

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)
						今年度	自己評価・課題(中段)
							令和5年度実施予定内容(下段)
例	シティセールスウェブサイトの整理	ホームページにおいてシティセールス関係のページを充実させ、旬な情報を多くの方に届ける。	元気なとよかわ発信課	平成28年度	継続	豊川市定住促進サイト「CITY AND PEOPLE ひとのわ、とよかわ。」で豊川市で暮らす人、ゆかりのある人のインタビュー記事33本などを掲載し、人々の声を通じて豊川市の魅力を発信した。	令和4年度実施内容(上段)
						・計画どおり実施できたと評価する。 ・サイトの令和4年度訪問数は月平均1,797人(年間21,566人)であり、令和3年度月平均2,155人(年間8,621人)から減少傾向にあるため、定住促進サイトをより充実させるコンテンツの見直しや追加などが必要である。	自己評価・課題(中段)
1	トップセールス	情報発信力のある市長などがあらゆる機会を捉えて、豊川市の魅力を市内外へ売り込む。【秘書課】 企業誘致に向けて、市長が各企業へトップセールスを随時実施する。【企業立地推進課】	秘書課、企業立地推進課	平成28年度	継続	・新型コロナウイルス感染症の影響により、PR機会は減少したものの、マリッジカウンセラー試写会への訪問、国際ドローン展、豊川稲荷東京別院節分会などの首都圏で開催されたイベントなどで、市長が市の魅力をPRした。また、その他様々な機会でも市制施行80周年記念事業をPRした。【秘書課】 ・企業用地のPRのため、首都圏で開催された県主催セミナー、市内企業立地情報交換会において、参加企業などに対して市長自らによるプレゼンを2回実施した。【企業立地推進課】	令和4年度実施内容(上段)
						・計画どおり実施できたと評価する。【秘書課】 ・現行のセミナーや展示会以外にも、トップセールスが出来る機会を考えていく必要がある。【企業立地推進課】	自己評価・課題(中段)
2	とよかわ広報大使制度の活用	平成30年度に俳優の渡辺いっけい氏、令和4年度からZIP-FMの小林拓一郎氏をとよかわ広報大使に起用し、その知名度や影響力を活かして、豊川の魅力を広く全国に発信する。	元気なとよかわ発信課	平成28年度(平成27年度)	継続	・豊川市がメインロケ地であり、渡辺いっけい氏主演の映画「マリッジカウンセラー」の舞台挨拶を令和4年9月17日(土)に行った。 ・豊川市の魅力を広く全国に発信するため、ラジオDJの小林拓一郎氏に新たにとよかわ広報大使として令和4年6月1日(水)に就任いただいた。	令和4年度実施内容(上段)
						・映画の舞台挨拶、新たなとよかわ広報大使の就任と計画どおり実施できたと評価する。 ・とよかわ広報大使と協力し、積極的に豊川市をPRしていく必要がある。	自己評価・課題(中段)
3	ふるさと観光大使との連携	観光協会が平成21年度からZIP-FMの小林拓一郎氏を観光大使に起用しており、豊川市の魅力を発信する。	商工観光課	平成28年度(平成21年度)	継続	観光協会と連携し、ラジオDJの小林拓一郎氏による自身の番組などで、豊川市の魅力を広く発信した。	令和4年度実施内容(上段)
						・計画どおり実施できたと評価する。 ・知名度がある人物や発信力のある人物など、広報大使同様、観光大使を増やす必要がある。	自己評価・課題(中段)
					継続	地元とよかわのイベントでの活動を今後も依頼をしていく。	令和5年度実施予定内容(下段)

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)
						今年度	自己評価・課題(中段)
						令和5年度実施予定内容(下段)	
4	いなりん宣伝部長兼おもてなC部長、いなりこ宣伝部特命課長、イナリソ宣伝部特命係長の活用	豊川市宣伝部長いなりん、特命課長いなりこ、特命係長イナリソが市内外のイベントなどへ参加するとともに、チラシなどにイラストを掲載することで、知名度を活かした情報発信を行う。	元気なとよかわ発信課、商工観光課、経営課、議事課	平成28年度(平成21年度)	継続	<ul style="list-style-type: none"> 市内企業と高校で連携して制作したシティセールスグッズ「消臭木」(2,000個)にいなりんのイラストを使用してPRを実施した。【元気なとよかわ発信課】 市内外でのイベントや交通安全啓発など、さまざまな場面に46回参加し、市の魅力や重要な情報の発信に貢献した。【商工観光課】 県主催及び東三河広域観光協議会による名古屋市内のイオンモールでの観光展への参加、秘書課、農務課、観光協会と連携し、東京日本橋でのシティセールスイベントなどへ参加し、16回実施することができた。【商工観光課】 下水道への理解を深めていただくため、いなりんをデザインしたマンホールふたのコレクションカード「いなりんマンホールカード」を2,000枚作成し、1,961枚配布した。【経営課】 いなりん、イナリソ、いなりこのシールを貼付した紙コップ・コースターを約70個作成し、会議などでお茶の提供の際に使用してPRした。【議事課】 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、本会議場などの傍聴席において、間隔を空けて着席するよう促すために座席に設置する貼り紙を約30枚作成し、いなりん、イナリソ、いなりこのイラストを用いた。【議事課】 	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり実施できたと評価する。【元気なとよかわ発信課、経営課、議事課】 引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらの事業実施となると思われるが、可能な限り実施されるイベントなどで活用していく。行政の活用方法について、観光協会のPR戦略と整合を図る必要がある。【商工観光課】
						<ul style="list-style-type: none"> メディアリレーション活動強化事業及び80周年記念事業と連携したイベントなどで、いなりんなどの活用を実施する。【元気なとよかわ発信課】 引き続き、観光PRイベントに参加していく。【商工観光課】 イオンモール豊川連携事業水道週間啓発イベントを令和5年6月4日(日)に開催する。【経営課】 紙コップ、コースターについて、昨年度までと同様に実施する。また、本会議場などの傍聴席への貼り紙は、新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴い、令和5年5月までで終了する。【議事課】 	
5	首都圏などの市外におけるプロモーション活動	トップセールス、ホームページ、新聞広告、雑誌、ラジオ、テレビ、特産品販売などにより、市外のターゲットを意識したプロモーション活動を増加・充実させる。	元気なとよかわ発信課、商工観光課、農務課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> 豊川稲荷東京別院の節分会、初午祭、大岡祭でブースを出展し、とよかわブランドを中心にPR販売をした。【商工観光課】 メディアリレーション活動強化事業において、「豊川って、豊かだ」キャンペーンを実施し、歌手の山川豊さんが扮する豊川豊が市制80周年PRソングを歌うなど、豊川の豊かな魅力を全国に発信した。また、とよかわブランドをはじめとした特産品を使った人気スイーツ店を周遊するスイーツラリーを企画し、PR強化を図った。【元気なとよかわ発信課、商工観光課】 東京日本橋のイベントスペースへ出展し、とよかわブランドを中心に豊川産の農産物をPR販売した。【農務課】 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナ感染症の影響を考慮しながらできる限りの取り組みができたと評価する。引き続き、豊川産農産物とその加工品などについて首都圏へのプロモーションに取り組む。
						<ul style="list-style-type: none"> 豊川稲荷東京別院の節分会、初午祭、大岡祭でブースを出展し、とよかわブランドを中心にPR販売をする。【元気なとよかわ発信課、商工観光課、農務課】 メディアリレーション活動強化事業において、とよかわブランドや特産品などを使った市内周遊イベントを実施する。【商工観光課】 東京日本橋のイベントスペースへ出展し、とよかわブランドを中心に豊川産の農産物をPR販売する。【農務課】 	
6	特産品ギフトカタログの作成	地域の特産品を選定しギフトカタログとしてまとめ、土産や贈答などのニーズの掘り起こしやネット販売への対応を行い、特産品のブランド力を高める。	農務課、商工観光課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> こだわり農産物及びこだわり農産物タイアップ店のPRチラシを32,650部新聞折り込みすることでPRした。【農務課】 とよかわブランドに認定された資源などを活用したイベント・製品などの販路開拓事業を実施したが申請は0件だった。 観光協会のとよかわブランド認定事業との連携及び支援を行い、新たに「とよかわトレーラー」をブランド認定した。【商工観光課】 	<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり実施できたと評価する。【農務課】 ブランドプロジェクト事業との連携の中で、特産品ギフトカタログを含めた重点PR方法などの検討が必要である。【商工観光課】
						<ul style="list-style-type: none"> こだわり農産物及びこだわり農産物タイアップ店のPRチラシを40,600部新聞折り込みすることで、PRする。【農務課】 ブランド認定商品の売り上げ増加に向けたプロモーションを実施し、「買えるブランド商品」の調査と認定資源の商品化への仕組みづくりを構築する。【商工観光課】 ブランドプロジェクト事業との連携を継続しつつ、農務課、とよかわ大葉加工品販売促進ミーティングとも連携しながら、とよかわ大葉の加工品のセット販売を目指した商品紹介などのスキームの検討、物産展への出展の調整などPR方法の検討も進めていく。【商工観光課】 	

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)
						今年度	自己評価・課題(中段)
						令和5年度実施予定内容(下段)	
7	旅行会社と連携したとよかわ堪能ツアーの実施	豊川市を行程に組み込んだツアーを提供し、豊川市を楽しんでもらう。	商工観光課	平成28年度	継続	<p>新型コロナウイルス感染症による影響で減少した観光ツアー・団体客の誘客を推進するため、豊川市観光協会が行う観光振興推進事業を通じ、豊川稲荷を始めとした市内観光地などを訪れる観光目的のためのツアーに補助を行い、バス170台、参加者数4,786名の利用があった。</p> <p>・計画どおり実施できたと評価する。 ・ツアーの基になる素材が魅力ある内容にならないと、旅行会社との連携は難しい。</p>	
						継続	<p>・引き続き、旅行会社との商談を進めていく。 ・観光協会独自の取り組みとして、着地型観光である「マイストーリーとよかわ」による体験型プログラムを推進していく。</p>
8	とよかわ応援寄附制度に関する情報発信	返礼品の拡充を図り、とよかわ応援寄附制度について全国に情報発信する。	元気なとよかわ発信課	平成29年度	継続	<p>・返礼品事業者を9事業者、種類を63品目増やしたことで、令和3年度と比較し件数が約2倍の4,141件、寄附額が約1.4倍の1億5,723万円と大きく向上した。 ・市内に設立された地域商社と連携し、ふるさと納税返礼品の磨き上げなどを実施した。</p> <p>・計画どおり実施できたと評価する。 ・返礼品の更なる拡充を図り、引き続き情報発信に努める。</p>	
						継続	<p>ふるさと納税ポータルサイトの追加を行うとともに、地域商社と連携した商品の磨き上げに取り組む。</p>
9	広報とよかわ「モノ・ヒト・シゴト」の作成	市内にある「オンリーワン・ナンバーワン製品・技術」を、その製造・開発などに携わる人のインタビューを通して紹介し、市民に広く周知するとともに、第6次総合計画に掲げる定住を促進する。	秘書課	令和元年度 (平成31年4月)	継続	<p>令和4年4月号から市内の企業12社を掲載した。(毎月1社掲載)</p> <p>計画どおり実施できたと評価する。</p>	
						継続	<p>市内の企業11社の掲載を予定し、令和5年度で完了する(令和5年4月号～令和6年2月号)。</p>

作戦2 よく見える発信作戦

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)
						今年度	自己評価・課題(中段)
						令和5年度実施予定内容(下段)	
1	イメージカラーや定型デザインの活用	効果的な情報発信のため、統一したカラーやデザインを積極的に用いる。	秘書課	平成28年度	継続	<p>定例記者会見、各種イベントでインタビューボードを21回活用した。</p> <p>・計画どおり実施できたと評価する。 ・効果的なカラーやデザインについて、さらなる検討と調整が必要である。</p>	
						継続	<p>引き続き定例記者会見、各種イベントでインタビューボードを活用する。</p>
2	市ホームページの充実	アクセシビリティに配慮した分かりやすいホームページをつくり、行政情報の見える化を推進する。	秘書課	平成28年度 (平成25年1月)	継続	<p>各課担当者に対し市ホームページのアクセシビリティ操作研修を実施した。また、広報とよかわのテキスト版を月1回更新するなどアクセシビリティへ配慮し、市ホームページの管理運用を行った。</p> <p>・計画どおり実施できたと評価する。 ・さらなる情報の充実やシティセールスにつながる情報の更新、アクセシビリティの向上が必要である。</p>	
						継続	<p>引き続きアクセシビリティに配慮した市ホームページの管理運用に努める。</p>

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	令和4年度実施内容(上段)	
						昨年度	自己評価・課題(中段)
						今年度	令和5年度実施予定内容(下段)
3	SNSなどの多様な広報媒体の活用	現在活用している広報媒体の効率的な運用とともに、新たな広報媒体の導入について研究し、情報を受け取る方を意識した情報発信を行う。	元気なとよかわ発信課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・広報とよかわを24本、80周年記念PR動画を8本Youtubeで公開し、動画による情報発信を行った。 ・3つの市公式SNSについて、それぞれの特徴を生かした情報発信に取り組んだ。 	
						<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。 ・広報大使制度をさらに活用する必要がある。 ・イベントなどが減少した場合のSNS活用方法を検討する必要がある。 ・動画の効果的な活用を検討する必要がある。 	
					継続	新たなSNSとして、LINEを活用した情報発信に取り組むとともに、関係各課と連携した情報発信の頻度を高めていく。	
4	民間情報誌との協働広報の実施	民間が発行する情報誌などに市政情報を掲載することにより、より多くの市民などに情報を届ける。	商工観光課、企画政策課、秘書課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・豊川商工会議所月報「メセナ」に、市政情報を12回24記事掲載した。【商工観光課】 ・東三河最大級の「幼児・低学年」向け教育・子育て応援フリーペーパー「こどもミライ」に、市政情報を掲載した。【企画政策課】 ・豊橋商工信用組合の待合スペースや屋外でのデジタルサイネージで、市政情報を発信した。【秘書課】 	
						計画どおり実施できたと評価する。	
					継続	<ul style="list-style-type: none"> ・豊川商工会議所月報「メセナ」などに市政情報を掲載する。【商工観光課】 ・民間が設置しているデジタルサイネージで市政情報を発信する。【秘書課】 	
5	動画による情報発信	豊川市の魅力をPRするための動画を活用し、多くの方に印象に残る情報発信を行う。	元気なとよかわ発信課、中央図書館	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・広報とよかわを24本、80周年記念PR動画を8本Youtubeで公開し、1,280人がチャンネル登録した。【元気なとよかわ発信課】 ・ドームシアターで番組投影の前に地元のプロバスケットボールチームのPR映像を活用した。(令和4年4月～12月)【中央図書館】 	
						<ul style="list-style-type: none"> ・新たなプロモーション動画の作成、配信コンテンツの検討が必要である。また、広報大使制度をさらに活用する必要がある。【元気なとよかわ発信課】 ・計画どおり実施できたと評価する。【中央図書館】 	
					継続	<ul style="list-style-type: none"> ・80周年記念事業と連携した広報大使の活動を展開していく。【元気なとよかわ発信課】 ・市制施行80周年記念プラネタリウム番組を上映(令和5年5月27日～)する。また、80周年記念PR動画を上映する。(4月～)【中央図書館】 	
6	市民公開型GISの活用	施設・地域情報、医療・福祉情報、道路、下水道情報など市民にとって有効な地図情報をインターネットにより広く配信する。	情報政策課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・豊川市のホームページで公開している公開型GISの地図情報について、21回(延べ30件)のデータ更新を実施し、最新の情報を提供することで市民の利便性向上を図った。 	
						<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。 ・今後も市民にとって有益と考えられる地図情報を選別し、配信する必要がある。 	
					継続	豊川市のホームページで公開している公開型GISの地図情報の更新を継続する。	
7	サイン・デザインマニュアル(豊川市)に基づく施設案内用標識の整備	新たに整備した公共施設への案内標識の整備を行い、来訪者に分かりやすい統一した施設案内標識の整備を推進する。	公園緑地課、商工観光課、生涯学習課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・赤塚山公園の開園30周年の再整備に併せて、園内の総合案内板1基を設置した。【公園緑地課】 ・本宮山ウォーキングセンター駐車場の「ふるさと自然の道」案内看板1基の面板張替を実施した。【商工観光課】 	
						計画どおり実施できたと評価する。	
					継続	菟足神社貝塚公園における施設案内板1基の設置を行う。【生涯学習課】	

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	令和4年度実施内容(上段)	
						昨年度	自己評価・課題(中段)
						今年度	令和5年度実施予定内容(下段)
8	市役所全職員の広報パーソナ化	広報の必要性や重要性を理解して情報発信できる職員を育成する。	元気なとよかわ発信課、人事課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・「豊川市人財育成基本方針(平成31年4月策定)」において、豊川市職員としてありたい姿“3C”の一つとして、“City Sales Person(シティセールスパークソン)”を位置づけ、職員向け研修を実施した。【元気なとよかわ発信課、人事課】 ・クールビズ期間中(5月1日～9月30日)の毎週水曜日及び金曜日を「いなりんクールビズデー」と位置づけ、職員の「いなりんポロシャツ」の着用を推奨した。【人事課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。【人事課】 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、予定していたイベントが中止となり実施できなかった。コロナ禍でも研修が行えるよう検討する必要がある。【元気なとよかわ発信課】
						継続	<ul style="list-style-type: none"> ・「豊川市人財育成基本方針」に位置づける“City Sales Person(シティセールスパークソン)”達成に向けた取り組みを実施する。【元気なとよかわ発信課、人事課】 ・クールビズ期間中(5月1日～9月30日)の毎週水曜日及び金曜日を「いなりんクールビズデー」と位置づけ、職員の「いなりんポロシャツ」の着用を推奨する。【人事課】
9	シティセールスウェブサイトの整理	ホームページにおいてシティセールス関係のページを充実させ、旬な情報を多くの方に届ける。	元気なとよかわ発信課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・豊川市定住促進サイト「CITY AND PEOPLE ひとのわ、とよかわ。」で豊川市で暮らす人、ゆかりのある人のインタビュー記事33本などを掲載し、人々の声を通じて豊川市の魅力を発信した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。 ・サイトの令和4年度訪問数は月平均1,797人(年間21,566人)であり、令和3年度月平均2,155人(年間8,621人)から減少傾向にあるため、定住促進サイトをより充実させるためコンテンツの見直しや追加などが必要である。
						継続	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビュー記事を掲載し、SNSを使って定住促進サイトを見てもらえるような工夫を行う。 ・新たな支援策の追加を行うことで、サイトのコンテンツ充実を図る。
10	広報部門の機能強化	広報担当の知識、技術、情報コーディネートの能力向上を図り、効果的な情報発信を行う。	秘書課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・各課の担当者が広報記事を作成する際に市民に伝わりやすい情報発信ができるように各課広報担当者に対し、広報意識改革研修を1回行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報意識改革研修を受講した各課広報担当者から研修後アンケートで91.8%が参考になったと回答があった。
						継続	<ul style="list-style-type: none"> ・各課広報担当者に対して広報意識改革研修を行い、市全体での効果的な情報発信に努める。
11	図書館コラボ展示・コラボイベントの実施	中央図書館エントランスなどで、各課などの主要施策をPRする内容の企画展示を実施する。また、主催する講座や講演会などを図書館で実施し、併せて関連した図書を紹介を行う。	中央図書館	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・豊川市出身の絵本作家 かべやふようさんの「かべやふよう」展をはじめ27課と、延べ67回の図書館コラボ展示を実施するとともに、「かべやふようミニトークショー」をはじめとしたコラボイベントを6回実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コラボ展示・コラボイベントにより、各課の施策を図書館利用者に効果的にPRすることができた。また、展示について中央図書館のSNSを通して発信することで、さらに広く施策をPRすることができた。
						継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続きコラボ展示・コラボイベントや講座・講演会などを実施し、中央図書館のSNSを通して発信を行う。
12	市内公共交通情報の提供	市内バス路線(豊鉄バス・豊川市コミュニティバス)情報のICT化を行い、乗換検索アプリなどに掲載し、市内公共・観光施設へのアクセス情報を充実させる。	市街地整備課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年3月、市内バス路線をイオンモール豊川まで延伸したことに伴い、乗換検索アプリに提供するデータを更新し、一部コンテンツプロバイダ(乗換検索アプリ提供事業者)に掲載依頼をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。
						継続	<ul style="list-style-type: none"> ・市内バス路線やダイヤ変更に対応して、乗換検索アプリに提供するデータを更新する。

大作戦2 わがまち大好き大作戦

作戦1 わがまち学ぼう作戦

※取組開始年度の（ ）書きは、計画期間前を含む実際の開始年度

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)	
							自己評価・課題(中段)	
							令和5年度実施予定内容(下段)	
1	市民向け観光イベントの実施	【「さくら」をキーワードにした市のPR】 「さくら」にまつわる施設やイベントを活かして、わがまち豊川市のイメージを高める。	商工観光課、文化振興課	平成28年度	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会と連携し、桜トンネル、佐奈川、音羽川、御津山、宝円寺及び穴観音公園などの開花状況を、ホームページに掲載しPRを行った。【商工観光課】 ・桜ヶ丘公園の淡墨桜の開花状況をホームページに掲載し、周知を図った。また、桜をテーマとした展覧会を令和5年3月19日から4月9日にかけて開催した。【文化振興課】 	
							<ul style="list-style-type: none"> ・開花時期は毎年違いがあるが、効果的なPRを行うためにはタイミングが重要である。【商工観光課】 ・桜をテーマとした展覧会については計画どおりに実施できたが、入場者数が少なかったため、付帯イベントや周知方法について検討が必要である。【文化振興課】 	
2	とよかわ観光ものしり検定の実施	豊川市の観光資源を知っていただくことを目的として、市内の観光地を巡りながら問題の答えを探すクイズラリーを実施する。	商工観光課	平成28年度 (平成27年度)	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会と連携し、桜トンネル、佐奈川、音羽川、御津山、宝円寺及び穴観音公園などの開花状況を、ホームページに掲載しPRを行う。【商工観光課】 ・薄墨桜の開花状況のみ実施する(展覧会は予定なし)。【文化振興課】 	
							<ul style="list-style-type: none"> ・第8回とよかわ観光ものしり検定を実施し、202人が参加した。 ・計画どおり実施できたと評価する。 	
3	新版豊川の歴史散歩の活用	本市にある数多くの歴史的文化遺産を知る機会の創出のため、平成25年に作成した「新版豊川の歴史散歩」を活用する取り組みを実施する。	生涯学習課、中央図書館	令和3年度	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・歴史散歩に掲載されたコースのうち、三河国分寺跡及び三河国分尼寺跡を巡る「歴史再発見ウォーキング」を令和4年11月19日(土)に実施し、46名の参加があった。 ・計画どおり実施できたと評価する。 	
							<ul style="list-style-type: none"> ・「新版豊川の歴史散歩」について、生涯学習課、三河天平の里資料館、豊川市平和交流館、桜ヶ丘ミュージアム及び各生涯学習センターで販売する。【生涯学習課】 ・令和3年度に映像化した「新版豊川の歴史散歩」をYouTubeで配信する。【中央図書館】 	
4	魅力再発見イベントの開催	豊川市の魅力を多くの方に改めて知ってもらうためのイベントを開く。	商工観光課、生涯学習課、文化振興課	平成28年度 企業連携講座 (平成30年度)	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・豊川市推奨観光ルートウォーキングを実施し、340人が参加した。【商工観光課】 ・地域生涯学習講座において、地元企業と連携した講座や郷土の歴史を学ぶ歴史講座を実施した。【生涯学習課】 ・桜ヶ丘ミュージアムの歴史常設展示室で郷土の歴史を紹介するとともに、美術常設展示室で郷土作家の作品を展示した。【文化振興課】 ・桜ヶ丘ミュージアムの展示室で、地域のことを知り、地域への愛着(シビックプライド)を高めるための企画展を開催した[特別展 とよかわ紋・藩ワールド(令和4年10月8日～11月27日)]。【文化振興課】 	
							<ul style="list-style-type: none"> ・推奨観光ルートウォーキングについて、テーマを持ってルート設定を行い、周遊し、本市の観光の魅力を感じていただくことが必要である。【商工観光課】 ・計画どおり実施できたと評価する。【生涯学習課】 ・特別展「とよかわ紋・藩ワールド」において目標値の2倍を超える来場者(12,881人)があった。【文化振興課】 	
					継続		<ul style="list-style-type: none"> ・大河ドラマ「どうする家康」に関連し、豊川市内の武将ゆかりの地を巡るウォークラリーを実施する。【商工観光課】 ・地域生涯学習講座において、地元企業と連携した講座や郷土の歴史を学ぶ歴史講座など魅力ある講座を実施していく。【生涯学習課】 ・歴史常設展・美術常設展を開催する。また、徳川家康関連の企画展は関係地域と連携して開催する。【文化振興課】 	

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)	
						今年度	自己評価・課題(中段)	
						令和5年度実施予定内容(下段)		
5	特色あるプラネタリウムの活用	宇宙の知識を深めるプラネタリウム番組により、わがまちの魅力を際立たせていく。	中央図書館	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオスペース館で、オーロラ映像をプラネタリウム番組投影前(4月～12月)に上映した。 ・地元プロバスケットボールチーム「三遠ネオフェニックス」のPR映像を番組投影前に(4月～12月)上映した。 ・市内の全小学校の4年生、市立と保育協会の全保育園、幼稚園、希望する私立保育園の年長を対象に学習上映を行った。(保育園39園、小学校23校) ・「むさしの会」によるファミリーコンサートや「星兄」によるプラネタリウム解説イベントのほか、外部講師による星空や天文現象の解説、星空コンサートを行った。 	令和4年度実施内容(上段)	
						<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったイベントがあったが、概ね計画どおり実施できたと評価する。 	自己評価・課題(中段)	
6	わがまちの防災を学ぼう作戦	防災センターでのイベントを通じて、わがまちの安全について情報を発信する。	危機管理課	令和3年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオスペース館プラネタリウムで、市制施行80周年記念番組を(令和5年5月27日～)上映する。 ・地元プロバスケットボールチーム「三遠ネオフェニックス」のPR映像に加え、市制施行80周年記念PR映像を(4月1日～)上映する。 	令和5年度実施予定内容(下段)	
						<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー防災講座、防災サマーフェスタ、防災ウィンターフェスタ、ジュニア防災リーダー養成講座を実施したほか、防災センターの見学を個人4,278人、団体73団体、1,757人の受け入れを実施した。 ・計画どおり実施できたと評価する。 	自己評価・課題(中段)	
						継続	<ul style="list-style-type: none"> ・特定非営利活動法人穂の国まちづくりネットワークと共催し、「きがるに防災チャレンジ」を実施する。 ・引き続き防災センターの団体見学を実施する。 	令和5年度実施予定内容(下段)

作戦2 わがまち輪となろう作戦

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)
						今年度	自己評価・課題(中段)
						令和5年度実施予定内容(下段)	
1	イベントサポート制度の実施	民間などが開催するイベントなどを支援し、イベントや視察・会議などの活性化とシティセールスの強化を図る。	元気なとよかわ発信課	平成28年度(平成27年度)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントサポート制度の申請件数が13件あり、全てのイベントを支援・実施することができた。 	令和4年度実施内容(上段)
						<ul style="list-style-type: none"> ・申請件数が13件あり、新型コロナウイルス感染症前の令和元年度は19件の申請があり、比較すると申請数は少ないが、全て実施できたため計画どおり実施できたと評価する。 ・新規のイベント申請が少ないため、制度の周知や支援制度について検討を行う。 	自己評価・課題(中段)
2	市民から提供された写真や動画の配信	市民が撮影した写真や動画を広報紙やホームページに掲載するなど、市民参加型の情報発信を行う。	秘書課	平成28年度(平成27年度)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・制度を周知するために、HPの見直しや広報へ制度についての記事を掲載する。 ・制度を利用する場合の支援内容など主催者側に伝わりやすい資料を作成する。 	令和5年度実施予定内容(下段)
						<ul style="list-style-type: none"> ・広報とよかわのコーナー「みんなの写真館」で市民が撮影した市の魅力が伝わる写真を公募し、9枚掲載した。 ・計画どおり実施できたと評価する。 ・「みんなの写真館」への応募が少ないため、公募方法などを見直す必要がある。 ・市民参加型の情報発信の新たな方法について検討する必要がある。 	自己評価・課題(中段)
3	観光ボランティアの人材育成	豊川市に住んでいる人や訪れた人が感動するおもてなしの輪を広げる。	商工観光課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会が豊川稲荷や御油のマツ並木、牛久保地区、砥鹿神社でボランティアガイド14名を配置し、観光案内を行った。 ・観光まちづくりを担うボランティアは、市民向けの観光情報を提供する取り組みが重要であるため、引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえつつ、過去のボランティア講座への参加者を活用するための場を創出するため、実践的な内容の講座の実施を継続していく。 ・ボランティアガイドは、他の観光名所の案内もできるような人材育成も必要である。 	令和4年度実施内容(上段)
						<ul style="list-style-type: none"> ・おもてなしの心で無料ボランティアガイドを実施し、豊川稲荷やガイド地各所の歴史のみならず、周辺エリアの案内も行い、参拝者(来訪者)へ市内周遊を促進できるよう取り組みを進めていく。 	自己評価・課題(中段)

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)
						今年度	自己評価・課題(中段)
						令和5年度実施予定内容(下段)	
4	交流イベントの開催	豊川市に興味を持ち、来訪してもらうために、各種交流イベントを開催する。	商工観光課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> 豊川市民まつり「おいでん祭」、観光推奨ルートウォーキングを実施するとともに、とよかわブランドのいちご、大葉などを使用したスイーツを用意したお店を周遊するとよかわスイーツラリーを令和4年12月23日(金)から令和5年3月12日(日)にかけて開催した。 観光協会と連携し、桜まつり、大和の大いちょうまつりなど季節に合わせたイベントを開催した。 体験プログラム「マイストーリーとよかわ」を8月から開始し、20プログラムを実施した。 	
					継続	計画どおり実施できたと評価する。	
5	広域連携による観光PR	東三河地域で連携することで、豊川市の魅力のみならず、広域的な魅力と合わせて発信し、県内外の多くの方の関心をひきつける。	商工観光課	平成28年度(平成10年度)	継続	<ul style="list-style-type: none"> 東三河広域観光協議会と連携してイオンモール新瑞橋、イオンモール岡崎でのイベントで2回本市の観光PRを実施した。 計画どおり実施できたと評価する。 県外への情報発信や誘客・物産活動は豊川市単独では難しいため、広域連携での取り組みも継続する必要がある。 東三河県庁、東三河広域連合、豊川市が実施するPR事業に関し、相乗効果が期待できるものになるよう取り組む必要がある。 	
					継続	<ul style="list-style-type: none"> イオンモール豊川で「大文化祭」を開催するとともに、東三河の伝統あるお祭りのPR、ワークショップ、マルシェ、観光展を実施する。 東三河全域の観光パンフレットを用い、広域での誘客を図るとともに、広域連携による商談会の開催、観光消費額の調査を実施する。 	
6	シティセールス戦略プランの周知	平成28年に策定した豊川市シティセールス戦略プランに基づく取り組みが、市民、NPO、地域、企業、大学、行政などに浸透するように基本的な考え方を周知し共有していく。	元気なとよかわ発信課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> 令和5年1月に3C研修「シティセールスパーソン研修」において、職員への周知を実施した。 計画どおり実施できたと評価する。 	
					継続	職員を対象とした研修、出前講座などを通じて、シティセールス戦略プランの周知を行う。	
7	とよかわファンクラブの創設	豊川市のことに興味を持ち応援していただける方が集う場として組織し、自らまちの魅力を発信し、愛着や誇りを高められるようにする。	元気なとよかわ発信課	—	検討・調整・準備	<ul style="list-style-type: none"> 参加者をはじめ組織体制や制度設計について検討した。 取り組みが進展していないため、方向性の検証も含め改善する必要性が高い。 	
					検討・調整・準備	SNSや移住、ふるさと納税制度など多様な手段と併せたシティセールス推進を通じて、市民のシビックプライド醸成に資する取り組みへの検討を進める。	
8	e-モニター制度の実施	市民の意向を迅速に把握するためのコミュニケーションツールとして、電子メールなどを利用し、市政に関するアンケートを実施する。	秘書課	平成28年度(平成24年度)	継続	<ul style="list-style-type: none"> インターネットを利用したモニター制度「とよかわデジモニ」で、6回のアンケートを100人のモニターに対して実施した。 計画どおり実施できたと評価する。 新規の応募者を増やし、幅広い意見の収集が必要であると考えている。 	
					継続	引き続き市政に関するアンケートを実施する。	
9	新たなシティセールスグッズなどの作成	市への愛着を持ってもらうとともに、市内外へ魅力を発信するグッズなどを作成する。	元気なとよかわ発信課、市民課、保健センター	平成29年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> 豊川出身絵本作家のかべやふようさんのイラスト入り婚姻届、母子手帳バッグインバッグ(令和3年度作成:婚姻届2,000枚、母子手帳バッグ4,000個)を希望者へ配布した(令和5年度も継続して実施)。【市民課、保健センター】 配布方法など、新型コロナウイルス感染症による影響を考慮しておく必要がある。 デザインや仕様などの変更について、随時検討する必要がある。 	
					継続	<ul style="list-style-type: none"> メディアリレーション活動強化事業、市制施行80周年記念事業を通じて本市の豊かさを感じてもらえるグッズの作成及びイベントでの配布を行う。【元気なとよかわ発信課】 引き続き、かべやふようさんのイラスト入り婚姻届の2,000枚作成、配布を行う。【市民課】 	

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	令和4年度実施内容(上段)	
						昨年度	自己評価・課題(中段)
						今年度	令和5年度実施予定内容(下段)
10	医療安全川柳の実施	医療安全に関する川柳の募集を行う。	市民病院医療安全管理センター	平成30年度	継続	医療安全を題材とした川柳を、来院者や入院患者などから募集し、82点から優秀作品を7点選定し、表彰した。	
						計画どおり実施できたと評価する。	
						医療安全推進週間を含む一定の期間において、医療安全に対する意識の向上・啓発を図るため、昨年度と同様に医療安全を題材とした川柳を募集、優秀作品の選定、表彰するとともに院内掲示を行う。	

大作戦3 わがまち魅力アップ大作戦

①歴史・文化芸術のバリューアップ

※取組開始年度の（ ）書きは、計画期間前を含む実際の開始年度

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)
						今年度	自己評価・課題(中段)
							令和5年度実施予定内容(下段)
1	地域資源をつなぐ街道紹介	街道を切り口として、地域の魅力を組み合わせてつなぎ効果的にPRする。	商工観光課	平成28年度	継続	愛知県が主催する街道観光推進協議会へ参画し、周遊促進キャンペーンとして御宿印めぐりを実施した。	
						<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり実施できたと評価する。 東海道・姫街道を切り口とした連携のため、実績のある草津以外の都市での出展を含めた連携の検討と調整を行う。 推奨観光ルートウォーキングについて、既存のコースを利用して、引き続き魅力ある内容で開催することが重要である。 	
					継続	街道観光推進協議会が開催する県内外の街道観光関係者が一堂に会する講演会に参加し、情報交換などを実施する。	
2	歴史的価値のある神社仏閣の物語性を加えたPR	歴史的価値のある神社仏閣の魅力を際立たせて効果的にPRする。	商工観光課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> 観光パンフレットを全面リニューアルし、視覚的に興味を持ってもらえるようにデザインし、20,000部作成した。 市内の名所などを巡り問題を解く、ものしり検定を令和4年11月1日から令和5年2月28日まで行い、202人が参加し、PRを行った。 観光協会が市内神社仏閣27か所を掲載した御朱印巡りPRパンフレットを1,000部作成し、御朱印配布枚数は、138,712枚(報告のあった神社仏閣分)となり、PRができた。 	
						<ul style="list-style-type: none"> 計画どおり実施できたと評価する。 神社仏閣など観光資源と絡めたパワースポットや伝承など歴史的な地域資源の掘り起こしを大河ドラマ「どうする家康」を活用して、新たな地域資源を発掘するなど継続して行う必要がある。 	
					継続	<ul style="list-style-type: none"> 大河ドラマ「どうする家康」で本市に関係のある鳥居強右衛門を絡めた問題をものしり検定に含めて昨年と同様に行う。 大河ドラマ「どうする家康」の盛り上がりを活かして、本市にも市内外からの参加者を増やしていく。 	
3	身近な文化財(国分寺、国分尼寺等)の活用	重要な文化財である国分寺や国分尼寺をわがまちの誇るべき資源とし活用していく。	生涯学習課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアガイドによる国分寺や国分尼寺跡の来訪者への説明ガイドを実施し、5,110人の入館者を受け入れた。 三河国分尼寺跡史跡公園に多くの方が訪れて知っていただくため各種講座を8回実施した。 三河国分寺跡の史跡整備に向けた基礎資料収集を目的とした確認調査を1回実施した。 	
						新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、予定する全事業を計画どおり実施することはできなかったが、事業内容を変更することで、部分的に実施することができた。	
					継続	<ul style="list-style-type: none"> ボランティアガイドによる国分寺や国分尼寺跡の来訪者への説明ガイドを実施する。 三河国分尼寺跡史跡公園に多くの方が訪れて知っていただくため各種講座を実施する。 ボランティアガイド養成講座を開催する。 	
4	伝統芸能の伝承への支援	伝統芸能の公演場所として、杉森八幡社境内の赤坂の舞台(豊川市赤坂町西繩手)を活用する。また、地域の祭礼などで使用する祭礼用具の修理・新調を支援する補助制度を活用し、伝統文化・伝統芸能の伝承を図る。	生涯学習課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> 赤坂の舞台伝統芸能公演を実施(令和4年10月23日)した。(来場者400人) 豊川市文化財保存事業費補助金(無形民俗文化財伝承支援事業)にて、補助事業を1件実施した。(補助額500千円) 	
						<ul style="list-style-type: none"> 例年、赤坂の舞台において実施している赤坂の舞台伝統芸能公演(市指定文化財「金沢歌舞伎」及び一宮南部小学校歌舞伎クラブによる歌舞伎公演など)を、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ウィンディアホールにて実施した。(来場者400人) 豊川市文化財保存事業費補助金(無形民俗文化財伝承支援事業)で、市指定文化財「風祭り」の祭礼用具に要する経費の支援を実施した。 	
					継続	<ul style="list-style-type: none"> 赤坂の舞台伝統芸能公演を実施し、伝統芸能の伝承を支援する。 豊川市文化財保存事業費補助金(無形民俗文化財伝承支援事業)を活用し、伝統文化・伝統芸能の伝承を図る。 	
5	パワースポットの紹介	豊川稲荷の霊狐塚や牛久保のナギなど、本市の歴史ある神聖な気の満ちるパワースポットの紹介を通して、多くの人に訪れてもらえる観光振興へとつなげる。	商工観光課	平成30年度	継続	観光ガイドマップ「とよかわたび」(作成部数20,000部)にパワースポットめぐりとして市内8か所を掲載した。	
						本市の観光情報を掲載したガイドマップの作成、配布を通じて、市内外に広くパワースポットの紹介を行うことができた。	
					継続	「とよかわたび」及び冊子「豊川市推奨観光ルート豊川おでかけスポットナビ」による周知、観光協会HP「縁結びの神様とパワースポットコース」としてパワースポットの紹介を行う。	

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)
						今年度	自己評価・課題(中段)
						令和5年度実施予定内容(下段)	
6	豊川海軍工廠平和公園の活用 【旧(R1変更):平和公園(仮称)の整備】	全国的にも数少ない戦争遺跡を保存活用した平和公園について、語り継ぎボランティアの協力を得て運営を行う。	生涯学習課	平成28年度	継続	・ボランティアによる来園者へのガイドなどの活動を実施し、22,562人の来園者を受け入れた。 ・講座や体験談を聴く会などの各種事業を9回実施した。	令和4年度実施内容(上段)
						・ボランティアによる来園者へのガイドなどの活動を実施する。 ・講座や体験談を聴く会などの各種事業を実施する。	自己評価・課題(中段)
7	質の高い公演、展覧会の開催	開かれた文化施設を目指し市民の文化の核施設となることで、地域の文化度を向上させる。	文化振興課	平成28年度	継続	・ボランティアの協力を得ながら文化事業を行い、市民との連携を深めた。 ・地域から支えられるミュージアムとなるように協賛企業の募集を行い、33社37口の申し込みがあった。 ・展覧会に関連した講演会や対談、ロビーコンサート、ワークショップなどを29回実施した。 ・豊川市文化会館、音羽文化ホール、御津文化会館及び小坂井文化会館で、感染予防対策を講じた上で各分野における質の高い公演を12本実施した。また、子どもから文化芸術に親しんでもらうため、アウトリーチ事業及びワークショップを19回実施した。	令和4年度実施内容(上段)
						・ボランティアの協力を得ながら文化事業を行い、市民との連携を深める。 ・地域から支えられるミュージアムとなるように協賛企業の募集を行う。 ・展覧会に関連した講演会や対談、ロビーコンサート、ワークショップなどを実施する。 ・特別展「神殿狛犬の魅力」では重要文化財を豊川で鑑賞できる機会を設ける。 ・豊川市文化会館、音羽文化ホール、御津文化会館及び小坂井文化会館で、各分野における質の高い公演を13本実施予定。また、子どもから文化芸術に親しんでもらうため、アウトリーチ事業及びワークショップを22回実施予定。	自己評価・課題(中段)
8	文化人、芸術家との連携	地元作家を取り上げた展覧会や地元作家を講師に招いたワークショップを開催し、芸術家との連携を図る。	文化振興課	平成28年度	継続	桜ヶ丘ミュージアムにて、郷土作家2人が手掛ける「彫る」と「掘る」から生まれる美しい空間美術を紹介した企画展「鈴木と鈴木 ほるとほる」を開催し、1,915人の来館者があった。また、ワークショップや市内の小学校でアウトリーチを開催し、子どもたちに自身の制作を通し芸術活動のすばらしさを伝えた。	令和4年度実施内容(上段)
						・赤坂宿ボランティアガイドによる来訪者への案内活動を平成31年度から開始し、5,945人の入館者を受け入れた。 ・赤坂町内会などの協力を得て、東海道を活かしたウォーキングイベントなどを8回実施した。	自己評価・課題(中段)
9	大橋屋(旧旅籠鯉屋)の活用	江戸時代の旅籠建物である大橋屋(旧旅籠鯉屋)を拠点として周辺の文化財を活用する。	生涯学習課	令和元年度	継続	・赤坂宿ボランティアガイドによる来訪者への案内活動を実施する。 ・赤坂町内会などの協力を得て、東海道を活かしたイベントを実施する。	令和4年度実施内容(上段)
						・赤坂宿ボランティアガイドによる来訪者への案内活動を実施する。 ・赤坂町内会などの協力を得て、東海道を活かしたイベントを実施する。	自己評価・課題(中段)

②スポーツのパワーアップ

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)
						今年度	自己評価・課題(中段)
						令和5年度実施予定内容(下段)	
1	高校駅伝への支援	全国高等学校駅伝競走大会に出場する高校を支援することにより、「駅伝のまち豊川」を全国に発信する。	スポーツ課	平成28年度 (平成14年度)	継続		全国高等学校駅伝競走大会への出場に際して、豊川高等学校女子駅伝部に激励金を交付した。また、同大会での健闘を祈念して、市役所構内広告塔へPR看板を掲示するとともに、市役所2階ホールにおいて激励会を開催し、「駅伝のまち豊川」を市内外に広く発信した。
							計画どおり実施できたと評価する。
2	プロバスケットボールチームとのコラボレーション	Bリーグに所属する三遠ネオフェニックスと連携し、「するスポーツ」「みるスポーツ」「ささえるスポーツ」を推進する。	スポーツ課	平成28年度 (平成23年度: 交流会・教室)	継続		・小学生交流会や小中学生バスケットボール教室を10回実施した。(交流会6回・教室4回) ・東三河8市町村との連携協定に基づく「豊川市DAY」を開催し、豊川市の魅力をPRするとともにシティセールスを展開した。
				令和元年度 (市町村DAY)			計画どおりできたと評価する。
3	トップアスリートとの連携	様々な競技のトップレベルの選手等とふれあうことができるイベントを開催する。	スポーツ課	令和2年度	継続		野球(講師:プロ野球選手(埼玉西武ライオンズ平井克典選手、ジョセフ選手、千葉ロッテマリーンズ速水将大選手)、ソフトボール(講師:東海理化女子ソフトボール部)、BMX教室(講師:高崎成琉さん、竹内樹さん)の3競技を実施した。
							計画どおりできたと評価する。
4	パブリックビューイングの開設	豊川市に縁のある選手やチームが世界規模・全国規模の大会に出場する際に、大型映像投影装置を使って市民が一丸となって応援する。	スポーツ課、 中央図書館	平成28年度 (平成22年度)	継続		全国高等学校駅伝競走大会に出場する豊川高等学校女子駅伝部を応援するため、中央図書館内の大型映像投影装置を使ってパブリックビューイングを令和4年12月25日に開催した。
							計画どおり実施できたと評価する。
5	スポーツイベントの開催支援 【旧(R2変更):各種スポーツ大会の誘致・開催】	陸上競技場をはじめ市内スポーツ施設を活かし、スポーツイベントの開催を支援することで元気な豊川市を発信していく。	スポーツ課	平成28年度 (昭和60年度)	継続		豊川リレーマラソン、トヨカワシティマラソン大会ともに3年ぶりに開催し、多くの参加者(豊川リレーマラソン2,169人、トヨカワシティマラソン大会1,400人)を迎え実施することができた。
							コロナ禍での開催となり参加者数は減少したが、感染症対策を講じた大会運営を周知することで安心して参加できるイベントを開催することができた。
6	スポーツ公園の整備	運動公園として、各種スポーツのできる公園を整備する。	公園緑地課	平成28年度 (平成16年度)	完了		各種スポーツのできる運動公園として、第1期に整備した野球場、芝生広場など1.9haに加え、第2期整備としてサッカー場、ソフトボール場及び多目的広場の5.8haの整備を実施した。 (平成30年度完了)
							計画どおり実施できたと評価する。
					—		—

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)
						今年度	自己評価・課題(中段)
						令和5年度実施予定内容(下段)	
7	陸上競技場(第3種公認競技場)の有効活用	レベルの高い競技にも対応できるよう改修した陸上競技場を多くの方に使ってもらえるよう施設運営を行う。	スポーツ課	平成28年度(平成24年度)	継続	第3種公認競技場として公認を(～令和8年度まで)継続し、利用環境の維持を図った。	
						計画どおり実施できたと評価する。	
8	総合型地域スポーツクラブの設立育成	総合型地域スポーツクラブの質的充実を図るとともに、設立の機運が醸成された際には設立を支援する。	スポーツ課	平成28年度(平成16年度)	継続	市内3地区(音羽、一宮、小坂井)の総合型地域スポーツクラブに対して、活動経費に対する補助金を交付するとともに、会員確保など、活動支援を行った。	
						計画どおり実施できたと評価する。	
9	スポーツ合宿支援事業の実施	スポーツ合宿を行う市外団体を誘致・支援してスポーツを核とした交流人口の拡大につなげる。	スポーツ課	令和元年度	継続	市内スポーツ施設などの先行予約と補助金の交付(50団体、1,385,000円)を行った。	
						シティセールスにおいて知識と経験に精通する豊川市観光協会に業務委託し、多方面にPR活動を実施することができた。補助金の交付に関しては、当初予算を上回る申請があった。	
					継続	スポーツ合宿に文化合宿の支援事業も加えて、商工観光課が事業を継続する。	

③祭り・イベントのショウアップ

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)
						今年度	自己評価・課題(中段)
						令和5年度実施予定内容(下段)	
1	市民まつり(おいでん祭、手筒まつり)の充実	三河弁の「おいでん」を名称に取り入れた親しみやすい「おいでん祭」や、東三河地方に古くから伝わる手筒煙火による「手筒まつり」を開催し、充実させていくことでわがまちの魅力を多くの方に発信していく。	商工観光課	平成28年度(平成元年度)	継続	・新型コロナウイルス感染症拡大により市民まつり「おいでん祭」は中止となった。 ・手筒まつりは「新しい夏の市民まつり」検討委員会を設置し、令和5年プレイベント開催、令和6年度本開催に向けた検討を進めた。	
						・「おいでん祭」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により計画どおり実施できなかった。 ・新しい夏の市民まつり検討委員会を設置し、令和元年度をもって幕を閉じた手筒まつりに代わるイベントの検討を行った。	
					継続	・4年ぶりに「おいでん祭」を実施する。 ・令和6年度からの新しい夏の市民まつりの開催に向け、新しい夏の市民まつり検討委員会にて継続検討を行い、市民の機運醸成を図るため、打上花火、グルメ・体験コーナーなどのプレイベントを実施する。	
2	地域のイベントへの支援	中心市街地に賑わいをもたらすイベントを商店街が自立的に開催できるように継続的に支援する。	都市計画課	平成28年度	継続	・中心市街地商業等活性化推進事業を通じた支援や企画、運営面でのサポートを行った。 豊川地区:本町ナイト、ほいとも祭 諏訪地区:すわまちフェスタ、空き家見学まちあるき ・商店街主催イベントとして自立発展させるため、官公庁への申請・届出の事務手続きに限定して支援を行った。	
						新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で複数のイベントが中止となったが、開催されたイベントでは官公庁への申請・届出の事務手続きに限定した支援を実施し、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策は、主催者に助言するなど、自立を促す支援を実行できたと評価する。	
					継続	・中心市街地商業等活性化推進事業を通じた支援や企画、運営面でのサポートを行う。 豊川地区:本町ナイト、白狐祭、ほいとも祭 諏訪地区:すわまちストリート、おいでん横丁、すわまちフェスタ、空き家見学まちあるき ・商店街主催イベントとして自立発展させるため、官公庁への申請・届出の事務手続きなどの支援を行う。	

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)
						今年度	自己評価・課題(中段)
						令和5年度実施予定内容(下段)	
3	地域の祭りの情報発信	祭礼が豊富なわがまちの特長を活かすため、開催情報をタイムリーに発信し、来訪者数の増加につなげる。	商工観光課	平成28年度	継続	・観光協会が市内神社仏閣27か所を掲載した御朱印巡りPRパンフレットを1,000部作成し、御朱印配布枚数は138,712枚(報告のあった神社仏閣分)となり、来訪者の増加を図ることができた。 ・市内の神社仏閣祭礼の日限定の「御祭印」(デジタル)を「豊川稲荷秋季大祭」と「財賀寺智恵文殊まつり」で実施し、来訪者の増加を図った。	令和4年度実施内容(上段)
						・新型コロナウイルス感染症の影響により中止や神事のみなど限定的な実施となるものがほとんどであったため、開催情報などのタイムリーな紹介をすることはできなかったが、御朱印という新たな方向から紹介をすることができたため、おおむね計画どおり実施できたと評価する。	自己評価・課題(中段)
					継続	引き続き御朱印パンフレットや祭礼日限定の「御祭印」(デジタル)を作成し、来訪者の増加を図る。	令和5年度実施予定内容(下段)
4	食品製造企業と連携したイベント開催	地元製造企業と連携し、地域の強みであるものづくり産業を身近に感じられるイベントを開く。	商工観光課	平成28年度	継続	観光協会が主催する「マイストーリーとよかわ」において、工場見学(平松食品、天狗缶詰)を盛り込んだ体験型プログラムを実施した。	令和4年度実施内容(上段)
						工場見学は、セキュリティ、現場における製品の品質、従業員及び見学者の安全の確保を図るための受入体制を企業が整える必要があり、コストが多額となるため調整が難しい。	自己評価・課題(中段)
					継続	昨年度と同様、観光協会が主催する「マイストーリーとよかわ」において工場見学を盛り込んだ体験型プログラムを実施する。	令和5年度実施予定内容(下段)

④環境・自然のウェイクアップ

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)
						今年度	自己評価・課題(中段)
						令和5年度実施予定内容(下段)	
1	山、川、海の観光資源としての活用	豊かな自然環境を活かして観光客を呼び込む。	商工観光課	平成28年度	継続	・本宮山、御津山、観音山及び宮路山のハイキングマップをウォーキングセンターなどで配布しPRした。また、愛知県東三河総局における東三河スポーツツーリズム推進プロジェクトにおいて、ジャパンエコトラックフレンドエリアとして東三河地域が認定(県内初)され、本市は本宮山登山ルート、豊川歴史探訪サイクリングルートが認定コースとなった。 ・三河湾臨海緑地やマリナーについて、ガイドマップなどで紹介した。	令和4年度実施内容(上段)
						既存の山、川、海の観光資源を着地型観光の素材として活用していくような新たな事業展開が必要である。	自己評価・課題(中段)
					継続	・愛知県東三河総局が実施する「徳川家康公ゆかりの地を巡るジャパンエコトラック東三河デジタルスタンプラリー」に協力し、本宮山などに観光客を呼び込む。 ・観光客を呼び込むため、本宮山、宮路山など観光地の適切な管理を図っていく。	令和5年度実施予定内容(下段)
2	河川と三河湾の資源活用	本市の河川や三河湾などの水辺空間を活用し、水と親しむ機会を創出する取り組みを実施する。	商工観光課	令和4年度	実施(取組開始)	観光協会及び会員企業とコラボし、令和4年10月9日(日)に三河湾国定公園を会場として第1回目のハゼ釣り大会(ハゼ釣りりんピック)を参加者数100名で実施した。	令和4年度実施内容(上段)
						参加者のキャンセル待ちが出るほどの人気な企画であり、計画どおり実施できたと評価する。	自己評価・課題(中段)
					継続	引き続き、ハゼ釣り大会(ハゼ釣りりんピック)を令和5年10月8日(土)に日本列島公園周辺を会場として、募集人数を120名と増設して開催する。	令和5年度実施予定内容(下段)

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	令和4年度実施内容(上段)	
						昨年度	自己評価・課題(中段)
						今年度	令和5年度実施予定内容(下段)
3	桜並木の育成保存	佐奈川、音羽川及び西古瀬川などの川岸や桜トンネルを始めとする市内の桜並木について、景観保全のため市内の団体と桜並木の育成及び保存に取り組む。	道路建設課、道路河川管理課	平成28年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画道路桜町千両線の整備において、歩道に桜(ジンダイアケボノ)23本の植樹を行い、歩いて楽しい歩行者空間の整備を実施した。【道路建設課】 ・佐奈川、音羽川、西古瀬川及び豊川公園などの桜並木において、アダプトプログラムの活動団体延べ12団体の草刈りや清掃活動を支援した。【道路河川管理課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。【道路建設課】 ・良好な桜並木の保存に資するアダプトプログラム活動団体を維持していく必要がある。【道路河川管理課】
						継続	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度で桜町千両線の整備工事を完了し、3年間で計69本の桜の植樹を実施した。【道路建設課】 ・引き続きアダプトプログラムでの市内団体の清掃活動などの支援を通じて、桜並木の保存に取り組む。【道路河川管理課】
4	巨木や名木の愛護啓発	市内の巨木や名木を調査し、愛護啓発や専門家による保全を行い、次代に引き継ぐことでわがまち豊川市の魅力を高める。	環境課、生涯学習課	平成28年度(平成25年度)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・環境学習講座において自然観察会を行い、意識啓発を行った。【環境課】 ・国指定天然記念物「御油のマツ並木」について、樹勢回復を図るとともに15本補植を行った。【生涯学習課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。 ・市民の愛護につなげるため、巨木や名木の効果的なPRを行う必要がある。
						継続	<ul style="list-style-type: none"> ・国指定天然記念物「御油のマツ並木」について、樹勢回復を図るとともに15本補植を行う。【生涯学習課】
5	赤塚山公園の充実	県外からの来園者も多く人気を誇る赤塚山公園を、さらに親しまれる憩いの場としていく。	公園緑地課	平成30年度	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・赤塚山公園の老朽化した設備等(階段・園路など)について改修を行った。 ・利用者ニーズを把握するため、意識調査を実施した。 ・Instagramによる情報提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。 ・開園後30年以上が経過しているため、今後も施設の設備などについて計画的な改修が必要である。 ・時代のニーズにも対応した施設整備を行うことが必要である。
						継続	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、赤塚山公園の老朽化した設備(階段・園路など)について改修を行う。 ・利用者ニーズを把握するため、意識調査を実施する。 ・Instagramによる赤塚山公園に関する情報提供を行っていく。
6	市民協働による自然環境の保全	企業や団体などと連携し協働の仕組みづくりを検討するとともに、環境保全に関わる人材育成や団体支援を行い、豊川市の豊かな自然を守る。	環境課	平成28年度(平成27年度)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・水質保全、里山保全など環境保全活動を行っている各種団体に対し、活動の実施についての相談を受けたり、行事の開催や運営などの支援を継続して行うことができた。水質保全の活動団体が活動中止のため、支援は実施できなかった。 ・環境学習講座(24講座)を開催して豊川市の自然について学ぶ機会を市民に提供し、啓発を図った。 	水質保全以外は計画どおり実施できたと評価する。
						継続	<ul style="list-style-type: none"> ・里山保全など環境保全活動を行っている各種団体に対し、活動の実施についての相談を受けたり、行事の開催や運営などの支援を継続して行う。 ・環境学習講座(19講座予定)を開催して豊川市の自然について学ぶ機会を市民に提供し、啓発を図る。
7	アダプトプログラムによる環境美化と緑化推進	市民などが道路や公園などを清掃したり、花の植え替えや植樹をしたりして、愛情を持ってまちをきれいにすることを支援する。	道路河川管理課、公園緑地課	平成28年度(平成27年度)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・アダプトプログラムの啓発・周知をホームページで活動内容を紹介し、広く周知するとともに、県の補助金を活用し、市民団体(1団体)に花の苗(ダリア、ペチュニアなど)を(330個)配布した。【道路河川管理課】 ・県の補助金を活用し、市民団体(17団体)に花の苗などを(4,979個)配布した。【公園緑地課】 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。 ・公園や街路の樹木のほか、社寺林など市街地の民間緑地の保全も検討を進める。 ・環境美化だけでなく、緑化推進も図ることができる制度となるよう検討する必要がある。 ・県の補助金制度では、各団体の要望を十分満たせないため、市単独の予算措置が必要である。
						継続	<ul style="list-style-type: none"> ・アダプトプログラムの啓発、ボランティアで実施している方への周知を進める。【道路河川管理課】 ・県の補助金を活用し、市民団体(16団体)に花の苗などを配布を予定する。【公園緑地課】

⑤産業・都市基盤のグロウアップ

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)
						今年度	自己評価・課題(中段)
						令和5年度実施予定内容(下段)	
1	地産地消、6次産業化による農業振興	豊川産農作物のブランド化・普及推進により知名度を上げ、消費拡大を図ることで、地域農業を活性化させる。	農務課	平成28年度 (平成27年度)	継続		こだわり農産物を始めとした豊川産農産物について、販売促進・地産地消の推進を図るため、こだわり農産物タイアップ店を新たに2店舗認定(計19店舗の認定)、ほいとも祭へとよかわ農業市として出展しPR活動をした。
							引き続きこだわり農産物及び取り扱う市内飲食店舗をこだわり農産物タイアップ店として認定し広く周知することで普及促進を図る。
2	まちづくりと連動した商業振興	商店街などが知恵と工夫で賑わいを創出することを支援し、地域に根ざした商業振興を推進する。	商工観光課、都市計画課	平成28年度 (昭和55年度)	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・商業団体等事業費補助金(にぎわい創出事業)により、商店街などのにぎわい創出につながる事業(7件)に対し支援を行った。【商工観光課】 ・中心市街地の活性化事業について、商店街との合意形成を図りながら6件取り組んだ。【都市計画課】 ・市や中心市街地活性化推進事業による中心市街地の活性化に資する支援を6件行った。【都市計画課】
							<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。 ・商業団体などが自立して事業を行えるよう、支援をする必要がある。
3	企業誘致による工業振興	豊川市の魅力をアピールし優良な企業を誘致することで、自主財源の確保や雇用の創出を図り、地域を活性化させる。	企業立地推進課	平成28年度 (平成27年度)	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県と連携した再投資促進補助金や平成27年度に創設した御津1区第2期分譲用地企業立地支援制度や固定資産税相当額を交付する奨励金のほか、進出企業の情報提供報奨制度を用意し、優遇策を充実させ積極的に誘致活動を37回行った。 ・「ものづくり博2022」、「メッセナゴヤ2022」、「ものづくりフェア2022」、「テクニカルショウ横浜2023」の4回出展した。
							<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。 ・企業1社の御津1区への進出が決定した。 ・愛知県企業庁と連携して分譲中の御津1区への企業誘致を進める必要がある。 ・内陸工業団地を希望する企業のニーズに対応するため、新規工業用地の開発を進める必要がある。
4	大学との連携によるまちづくり	大学の知識や人材を活かして、シティセールスの効果があるまちづくりを進める。	企画政策課、都市計画課	平成28年度	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・28件(うち新規4件)の事業について、大学との連携により実施した。【企画政策課】 ・中心市街地の活性化を図るため、大学の研究室と協働で実施してきたまちなか再生検討事業等を実証事業としてまちづくり会社及び地元の商店街と協働で取り組むことを検討した。【都市計画課】
							<ul style="list-style-type: none"> ・地域の拠点として大学を活用するなど、時代に合った事業の展開を図っていく。【企画政策課】 ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で計画どおり実施できなかったが、一部はまちづくり会社及び地元の商店街と協働で実施できたと評価する。 ・今後は、まちなか再生実証事業の内容を、地元へと落とし込むため、まちづくり会社及び地元の商店街と協働しながら実施する。【都市計画課】
5	新たな豊川ブランドの創出	B-1グランプリ後の新たな観光資源になり得る名物を開発する。	商工観光課	平成28年度	継続		<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会のブランド認定事業との連携及び支援を行い、ブランド品の周知・PRを観光協会と連携して実施した。 ・新たに「とよかわトレーラー」をブランド認定した。
							計画どおり実施できたと評価する。
					継続		<ul style="list-style-type: none"> ・県外プロモーションイベントにて、とよかわブランドのPR販売を実施する。 ・とよかわブランドを実際に見て触れて楽しめる体験プログラムも企画・実施する。

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	昨年度	令和4年度実施内容(上段)
						今年度	自己評価・課題(中段)
						令和5年度実施予定内容(下段)	
6	公共交通機関を利用したウォーキング	平成21年度に作成したマップ「駅からはじまる物語」を活用するとともに、より使いやすいマップの作成を検討する。	商工観光課	平成28年度 (平成21年度)	継続	東南北地区の15駅(豊川駅、豊川稲荷駅、牛久保駅、国府駅、名電赤坂駅、八幡駅、愛知御津駅、西小坂井駅、伊奈駅、小坂井駅、三河一宮駅、長山駅、江島駅、東上駅)を活用したウォーキングマップやおでかけスポットナビパンフレットを観光展などのイベントでの配布や、それらを活用した推奨観光ウォーキングイベントを開催し、PRを行った。	
						継続	おおむね計画どおり実施できたと評価する。
7	2つの高速道路インターチェンジの優位性をPR	企業誘致やイベント開催などにおいて、交通アクセスの優位性をアピールし、訪れやすいまち、住みよいまちを印象づけていく。	企業立地推進課、商工観光課	平成28年度 (平成27年度)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏や関西圏で開催された県主催セミナーなど6回本市PRブースを設置し、企業用地パンフレットや豊川市で生産されたバラなどを、来場した企業などに500個配布し、また用地について問合せのあった企業に対して企業用地パンフレットを郵送し、物流ネットワーク拠点としての本市の優位性を積極的にPRした。【企業立地推進課】 ・県など主催の商談会へ観光協会と連携して参加し、セールス及びPRを15回実施した。【商工観光課】 ・観光協会のホームページにおいて、インターチェンジから観光地へのアクセスを紹介した。【商工観光課】 	
						継続	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。 ・本市においてインターチェンジを基軸とした交通アクセスの優れた新規工業用地の開発を進める必要がある。【企業立地推進課】 ・バス旅行における走行距離と運転手人員との関係によりバス旅行の範囲及び企画量が減少していることもある。【商工観光課】
8	公共機能が充実した複合商業施設プリオのPR	プリオの利便性を高めるとともに、その魅力を積極的に発信し、中心市街地の賑わい創出につなげる。	子育て支援課、市民課、市民協働国際課、人権生活安全課、商工観光課、都市計画課、生涯学習課	平成28年度 (市民課：平成21年度)	継続	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターでは、来訪者が手軽に子育て情報などを取得できるように情報提供を行った。【子育て支援課】 ・つどいの広場では、市内外の子育て中の親子が気軽に立ち寄れる場の提供を行った。【子育て支援課】 ・プリオ窓口センターでは、各種証明書などの発行に加えて平成24年4月から旅券の申請・交付を開始し、平成31年4月からは東三河広域連合の事務として広く地域住民の対応を担っている。【市民課】 ・とよかわボランティア・市民活動センタープリオでの市民活動の支援を732件(相談件数)行った。【市民協働国際課】 ・外国籍の子どもが日本語を学習するこぎつね教室の活動を(毎週月～木曜日)に行った。【市民協働国際課】 ・プリオ市民相談室では、法律相談をはじめ10種類の相談を受け付けた。【人権生活安全課】 ・観光協会の事務所において、観光PRを随時実施した。【商工観光課】 ・中心市街地活性化推進事業などにより、地域活性化のイベント会場として催事場を活用するとともに、壁面広告事業及びネーミングライツ事業を実施し、民間企業との協働を図ることができた。【都市計画課】 ・(一社)とよかわオープンカレッジと連携し、作品展示、講座体験を行う生涯学習成果発表会を開催した。【生涯学習課】 	
						継続	<ul style="list-style-type: none"> ・計画どおり実施できたと評価する。【市民協働国際課、生涯学習課】 ・公共機能の利用者により商業施設の利用拡大につながったと思われるが、継続して魅力あるビルづくりを進める必要がある。 ・観光協会と連携し、プリオを絡めた観光の企画を検討する必要がある。【商工観光課】 ・事業を継続しつつ、関係機関との連携を図り事業を行う必要がある。【都市計画課】
					継続	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援センターでは、市制施行80周年を記念し、子育てに関する情報誌「つながるノートじゃん・けん・ぽん」をリニューアルし、日本一子育てしやすいまちをPRしていく。【子育て支援課】 ・プリオ窓口センターでは、各種証明書などの発行に加えて、東三河広域連合旅券センター豊川窓口としてコロナ規制後の地域住民の需要に対応し、旅券の申請・交付を行っていく。【市民課】 ・引き続きとよかわボランティア・市民活動センタープリオでの市民活動の支援を行う。【市民協働国際課】 ・LINE公式アカウントでのプレゼント企画や、ウォーキングイベントでのチェックポイントと設定し事務局への誘客を図り、シャワー効果を狙う。【商工観光課】 ・中心市街地活性化推進事業などにより、地域活性化のイベント会場として催事場を活用するとともに、壁面広告事業及びネーミングライツ事業を実施し、民間企業との協働を図る。【都市計画課】 ・(一社)とよかわオープンカレッジと連携し、作品展示、講座体験を行う生涯学習成果発表会を引き続き開催する。【生涯学習課】 	

番号	取組名	取組概要	主管組織	取組開始年度	進捗状況	令和4年度実施内容(上段)	
						昨年度	自己評価・課題(中段)
						今年度	令和5年度実施予定内容(下段)
9	中心市街地安全で安心なおもてなし空間整備	中心市街地豊川地区にポケットパークを整備して、来街者の交通安全性及び回遊性の向上を図る。	都市計画課	令和元年度	完了	東三河環状線の交差点改良を実施し、来街者の交通安全性向上を図ることができた。 (令和2年度完了)	
						計画どおり実施できたと評価する。	
					—	—	